

科目名	現代文明とコミュニケーション		
担当教員名	阿部 史、川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は共通科目、十文字学の「地域・社会を学ぶ」に位置付けられる

科目の概要

しばしば、「政治・は出来上がりつつある法律であり、法律は出来上がった政治である」といわれるように、法律学と政治学は互いに密接な関係にある。そこで、この講義は、政治学・法学の入門編として、国の仕組み、くらしの仕組みを学ぶ。

学修目標(=到達目標)

現代の社会の仕組みをよりよく理解する

内容

- 国際社会の仕組み 1 国連、国際社会の中での日本
- 国際社会の仕組み 2 アメリカ、ヨーロッパ、新興国、発展途上国
- 国際社会の仕組み 3 民主主義・非民主主義、戦争と平和、核と世界
- 日本の仕組み 1 議会制民主主義、三権分立
- 日本の仕組み 2 日本の課題-少子高齢化と社会保障、景気対策と財政赤字、復興、エネルギー政策
- 日本の仕組み 3 安倍内閣-アベノミクス、東アジアと日本、安全保障、TPP
- 現代社会の仕組み 資本主義、財政赤字と金融危機、格差
- 前半総括
- 紛争解決の仕組み 1 裁判による紛争解決
- 紛争解決の仕組み 2 国民が「司法」に参加する仕組み
- 紛争解決の仕組み 3 紛争解決に携わる法律家・司法への市民の信頼
- 紛争解決の仕組み 4 司法制度改革
- 市民社会と法 1 裁判以外の紛争解決方法・市民の司法アクセス上の課題
- 市民社会と法 2 紛争解決における法律の役割と限界
- 市民社会と法 3 情報化社会と法・総括

評価

授業態度・提出物および小テストの結果を総合評価する。

前半の担当者50%、後半の担当者50%の持ち分の合計で評価する。

100点満点中60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、関連する時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した内容を復習し、それについての自分の意見・考え方をまとめる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて適宜資料を配布する。

【推薦書】

ティム・ロリンズ「13デイズ」角川文庫

科目名	NGO・NPOとコミュニケーション		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

選択科目

市民が行う自由な社会貢献活動を促進する法律として特定非営利活動促進法が成立したのは1998年である。多様な生活問題の解決にあたって民間非営利団体(NPO・NGO)の貢献する範囲は広がっている。統計などによって見えている部分のごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体である民間非営利団体について、さまざまな議論や実践とともに研究も深まりつつある。多様な非営利団体を対象に、現在の私たちの社会におけるその実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視する。

民間非営利団体の現状をふまえて、社会における市民の役割を理解する。

内容

NPOの活動事例の検討は、履修者の人数および関心に応じて変更する。第6～10週は例を示した。

1	生活主体と公共私領域 - NGO・NPOの誕生
2	NPOと非営利革命
3	NPOセクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のNPOを取り巻く制度と環境
6	NPOの活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	NPOの活動事例 - 医療・福祉の分野
8	NPOの活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	NPOの活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	NPOの活動事例 - NPOの支援を行なうNPO
11	NPOの多様性とその課題
12	NPOにおける寄付とボランティア
13	NPOのマネジメント
14	NPOの展開と市民社会の可能性
15	レポート報告と講評

評価

事例発表・討議への参加態度(30点)、期末レポート(70点)として採点し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】推薦書を読む。NPOの活動事例に関する情報収集を行う。

【事後学修】他の受講生の報告をふまえ、各自の関心領域以外の非営利活動について理解と関心を深める

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：NPO研究フォーラム『NPOが開く新世紀』清文社 335.8/N

山内直人編『NPOデータブック』有斐閣 335.8/Y

大畑裕嗣他『社会運動の社会学』有斐閣選書

山岡義典編著『NPO基礎講座』『NPO実践講座』ぎょうせい

目加田説子『行動する市民が世界を変えた』毎日新聞社

長谷川公一編『講座環境社会学・環境運動と政策のダイナミズム』有斐閣

科目名	異文化コミュニケーション		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

コース専門科目として、異文化コミュニケーションの特徴を学ぶ。

異なる文化的背景を持つ人と出会ったとき、私たちはうまくコミュニケーションができないと感ずることがある。それは、手段(言語、非言語)が充分でないからなのか、それとも、考え方(文化)が違うからなのだろうか。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探る。さらに、「ネット社会」の急速な発展など最近の社会の変化が、異文化コミュニケーションのあり方に及ぼしている影響についても考えてみたい。

文化の違いとは何かを理解すると同時に、自文化についても考え直すきっかけとする。

内容

講義で論じるテーマは以下の通り。

1. 異文化コミュニケーション研究の歴史(1): 外なる異文化
2. 異文化コミュニケーション研究の歴史(2): 内なる異文化
3. コミュニケーション: 何を伝えるのか
4. コミュニケーション: どうやって伝えるか
5. 異文化: 文化とは何か
6. 非言語コミュニケーション(1): 動作
7. 非言語コミュニケーション(2): 外見
8. 言語によるコミュニケーション(1): 言語
9. 言語によるコミュニケーション(2): 思考
10. コミュニケーション・スタイル
11. 異文化理解
12. メディアと異文化
13. 国際社会における異文化コミュニケーション
14. 多文化世界: 異文化の融合と共生
15. まとめ

評価

レポート(50%)、試験(50%)で総合評価。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】身の回りで異文化と感ずられることを記録しておく

【事後学修】授業での説明を参考にし、それが異文化と感じた理由を確認する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】鍋倉健悦 編著 『異文化間コミュニケーションへの招待』北樹出版、1998年

【推薦書】石井敏 他 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書 1997 年 361.54/1

【参考図書】古田暁 他 『異文化コミュニケーション・キーワード 新版』有斐閣双書 2001 年

科目名	国際政治論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年生以上のコース専門科目として、国際的視野を養う。

21世紀に入った国際社会はどのような問題に直面しているのだろうか。これまでの国際問題とは違う、新たな問題が発生しているのだろうか。この講義では、20世紀後半の国際関係の流れを再考し、その上で、現在の国際社会の問題の特徴を探る。国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物(主体)、話し合われる事柄、その背景の理解を通じて、多角的に捉えていく。

国際政治とは、自分から遠いところで、自分に関係なく動いているものではないことを学んでほしい。

内容

講義で取り上げる代表的なトピックは以下の通り。

1. 国際関係をみる視点：日本の役割
2. 20世紀の国際関係(1)：冷戦の始まり
3. 20世紀の国際関係(2)：冷戦の終結
4. 地域紛争(1)：歴史
5. 地域紛争(2)：現状
6. テロリズム
7. 南北問題(1)：格差
8. 南北問題(2)：貧困
9. 環境問題(1)；地球環境問題
10. 環境問題(2)：国際協力
11. 人権問題
12. 国際社会の協力関係(1)：グローバル化
13. 国際社会の協力関係(2)：リージョナリゼーション
14. 21世紀の国際社会と日本
15. まとめ

評価

レポート(50%)、試験(50%)で総合評価。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】個々に選択した国あるいは指導者についてのニュースを集める

【事後学修】授業で説明された国際政治の背景に重ねて、選択した国や指導者の動きについて考える

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】原彬久 『国際関係学講義（第4版）』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年

科目名	時事解説（前編）		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

メディアコミュニケーション学科専門科目「メディア社会論」と同時開講

情報を伝える「メディア」の発展が、私たち人間の「社会」をどう変えてきたかを考えます。例えば、今や女子大生なら持っていない人がいないであろう、ケータイ。この新たな情報伝達手段の登場で、「待ち合わせ」とか「約束の時間」という行為や考え方が変化してきたのは、皆さん自身が最もよく知ることでしょう。このように、新たな情報伝達手段の登場が私たちの行動パターンやひいては社会のあり方にまで影響を与えてきたことを歴史的に学んでいくことで、未来の社会の姿のヒントを得ることが狙いです。

内容

1	イントロダクション
2	「メディア・社会・論」って何？
3	「ことば」の誕生 「文字」の発明1
4	「ことば」の誕生 「文字」の発明2
5	「大量印刷」法の発達1
6	「大量印刷」法の発達2
7	「電気通信・電氣的記録機器」の発明1
8	「電気通信・電氣的記録機器」の発明2
9	「コンピュータ」の登場1
10	「コンピュータ」の登場2
11	インターネットの時代1
12	インターネットの時代2
13	現代の社会とメディアの課題
14	現代の社会とメディアの課題
15	まとめ

評価

逐次、小レポートを書いてもらいます（60%）。最後にテストまたはレポート課題をします（40%）。

授業外学習

【事前予習】ニュースなどでメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書『メディア用語基本事典』（世界思想社）

科目名	時事解説（後編）		
担当教員名	大西 正行、石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

現代社会で起きている主要なニュースを知ることと併せ、これをメディアがどう報じているかにも注目し、時事問題への基礎的理解を深める。

社会・政治・経済・文化等の各分野を鳥瞰しつつ、取り上げたそれぞれのテーマを理解し掘り下げていくための土台をつくる。

社会・政治・経済・文化はそれぞれが分断されているのではなく、相互に関連し合っってニュースは生まれ、メディアを通して私たちは伝えられた情報の意味を自分なりに受けとめている。単なる暗記的理解を超えて、「表に現れた事象の奥に潜んでいるもの」を洞察できる力を養いたい。

内容

ニュースを通してメディアへの理解や時事問題の見方を学ぶ。様々なメディアを理解しながらメディアの特質・影響力を学び、ニュースの見方を学びながら時事問題への理解を深める。同時にその時々々のニュースを取り上げ解説する。

現代のますます複雑化するマスメディアが報道する多量のニュースの中から現代社会で生活する上で真に必要な情報の取捨選択を行い得るメディア・リテラシーを身に付けるためのテーマを取り上げる。その範囲は政治・経済・文化、国際問題等に渡り、ニュースとニュースの関連性も学ぶ。受講生は日常生活を送りながら、国内外で起きる様々なニュース、出来事に関心を持ち、社会や国、世界に広く目を広げる“習慣”をつけてもらいたい。

評価

授業への取り組み70点、2名の担当者が出すによる課題執筆等30点とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】常日頃、新聞、テレビ等でニュースに接することが肝要である。

【事後学修】授業の最後を書いてもらう「感想文」などから自己の理解を発展させる習慣付けを求める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『ニュース検定公式テキスト3・4級』（毎日新聞社）

科目名	オーラルコミュニケーション		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out
in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

内容

Week 1 Introductions/Holidays

Week 2 Unit 1 Friends

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Free Time

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 The Past

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 The Family

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Work

Week 11 Review

Week 12 Unit 6 City Life

Week 13 Review

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

評価

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Communication Strategies 1 by Jun Liu

Cengage Learning

科目名	オーラルコミュニケーション		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out
in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

内容

Week 1 Summer Vacation
Week 2 Unit 7 Beliefs
Week 3 Review
Week 4 Unit 8 The Future
Week 5 Review
Week 6 Unit 9 Transportation
Week 7 Review
Week 8 Unit10 Vices
Week 9 Review
Week 10 Unit11 Marriage
Week 11 Review
Week 12 Unit 12 Travel
Week 13 Review
Week 14 Presentations
Week 15 Evaluation

評価

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Communication Strategies 1 by Jun Liu
Cengage Learning

科目名	オーラルコミュニケーション		
担当教員名	ベッツィー テラダ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

The aim of this elementary-level English course is to help students gain confidence in their basic English communication skills. The focus will be on developing vocabulary and expression needed to talk about familiar topics.

科目の概要

Two class periods will focus on a topic from the textbook which relates to students' lives, such as family, school life, and favorite things. Students will actively engage in a variety of speaking and short writing tasks.

学修目標 (=到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to express themselves more confidently in basic English.

内容	
1	Course overview, introductions, Unit 1(Classroom English, Part 1)
2	Unit 1 (Classroom English, Part 2)
3	Unit 1 Vocabulary Quiz, Unit 2 (School Life, Part 1)
4	Unit 2 (School Life, Part 2)
5	Unit 2 Vocabulary Quiz, Unit 3 (Family, Part 1)
6	Unit 3 (Family, Part 2)
7	Unit 3 Vocabulary Quiz, Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 1)
8	Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 2)
9	Unit 4 Vocabulary Quiz, Unit 5 (Friends, Part 1)
10	Unit 5 (Friends, Part 2)
11	Unit 5 Vocabulary Quiz, Unit 10 (Memories, Part 1)
12	Unit 10 (Memories, Part 2)
13	Unit 10 Vocabulary Quiz, "Show and Tell" mini-presentations
14	Review, discuss summer vacation plans
15	SPEAKING TEST (Units 2, 3, 4, 5, 10)

評価

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), vocabulary quizzes (20%), final speaking test (30%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week to strengthen vocabulary and expression.

【事後学修】 Students will be expected to review material covered in class each week and study for quizzes and tests.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach by Cliffe, Svendson, Terada Nan'undo Publishing Co.

【推薦書】 B5 notebook

【参考図書】 paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary

科目名	オーラルコミュニケーション		
担当教員名	ベッツィー テラダ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

The aim of this course is to help students gain confidence in their basic English communication skills. The focus will be on developing vocabulary and expression needed to talk about familiar topics.

科目の概要

Two class periods will focus on the topic from the textbook which are related to students' lives, such as family, school life, and favorite things. Students will actively engage in a variety of speaking and short writing tasks.

学修目標 (=到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to express themselves more confidently in basic English.

内容	
1	Course overview, introductions, Unit 1 (Classroom English, Part 2)
2	Unit 1 (Classroom English, Part 2)
3	Unit 1 Vocabulary quiz, Unit 2 (School Life, Part 1)
4	Unit 2 (School Life, Part 2)
5	Unit 2 Vocabulary quiz, Unit 3 (Family, Part 1)
6	Unit 3 (Family, Part 2)
7	Unit 3 Vocabulary quiz, Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 1)
8	Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 2)
9	Unit 4 Vocabulary quiz, Unit 5 (Friends, Part 1)
10	Unit 5 (Friends, Part 2)
11	Unit 5 Vocabulary quiz, Unit 10 (Memories, Part 1)
12	Unit 10 (Memories, Part 2)
13	Unit 10 Vocabulary Quiz, "Show and Tell" mini-presentation
14	Review, discuss summer vacation plans
15	FINAL SPEAKING TEST

評価

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), vocabulary quizzes (20%), final speaking test (30%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week to strengthen vocabulary and expression.

【事後学修】 Students will be expected to review material covered in class each week and study for quizzes and tests.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach by Cliffe, Svendson, Terada Nan'undo Publishing Co.

【推薦書】 B5 notebook

【参考図書】 paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary

科目名	時事英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在では、情報の多くが英語でやりとりされています。インターネットが普及した現在、様々な情報獲得手段があります。しかし、信ぴょう性という点で、今なお新聞は欠かせません。

この授業では、英字新聞を読みながら、現代社会を読み解くための基本的な知識を英語で学びます。必要に応じて、実際の英字新聞やホームページを閲覧します。辞書を片手に、やさしい英字新聞が読めるようになることが慣れることが目標です。

選択科目ですので、以上のような内容に興味があり、自発的に情報を収集し、考える態度が望まれます。

内容

主にThe Japan Newsの記事を収録したテキストを使用します。

身近な話題から、グローバル化した現代世界の様々な出来事や問題にいたるまで、知識、関心を深めながら読み進めていきます。

授業では、毎週1つの記事を読み、内容について話しあっていきます。

第1週：ガイダンス

第2週：Unit 1: Willingness to support quake-hit areas fading

第3週：Unit 2: Career education

第4週：Unit 3: Leaf worries behind with LED vegetables

第5週：Unit 4: Mental effects of bullying linger for years

第6週：Unit 5: Miyagi high school girl to speak at U.N.

第7週：Unit 6: Japanese eel now endangered

第8週：Unit 7: Soaking up the benefits of onsen

第9週：Unit 8: New English paper to debut April 1

第10週：Unit 9：GIRL POWER

第11週：Unit 10: For a tasty deal, pay your 'hometown taxes'

第12週：Unit 11: Samurai spirit

第13週：unit 12: Roundabouts hit the streets

第14週：unit 13: Author Kanako Nishi talks about her novels and the stories behind them

第15週：まとめ

受講者の関心の高いユニットから順次読めるよう調整したいと思います。

評価

参加態度 50%

テスト 50%

授業外学習

【事前予習】テキストを読み、おおまかな内容を読んでおいてください。

【事後学修】テキストで学んだ内容を、新聞やインターネットなどでさらに深めてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『メディアで学ぶ日本と世界 2014』

若有保彦著、成美堂、2000円

科目名	生活と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「情報処理演習」で習得したエクセルの技術を活用して、統計学の基本的な知識を学ぶ。卒業研究などで活用できる実際に分析手法については「社会調査法」で、またアンケート手法とSPSSによる分析については「マーケティングリサーチ」で学ぶ。

本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である分散の概念、正規分布の特徴、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

「データの種類と尺度について理解し、変数に応じた整理や分析ができる」「二項分布と正規分布の特徴を理解し、問題を解くことができる」「推定と検定の考え方について理解している」

内容

1	1 データの概念・記述統計と推測統計
2	2 データの尺度
3	3 度数分布とヒストグラム
4	4 データのばらつき(分散と標準偏差)
5	5 いろいろな確率分布
6	6 二項分布
7	7 正規分布(1)
8	8 正規分布(2)
9	9 母集団と標本
10	10 推定(1)
11	11 推定(2)
12	12 検定と帰無仮説
13	13 練習課題
14	14 応用課題
15	15 まとめ

評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出(20%)
- 2 . 最終課題の達成度(80%)とし、総合評価の60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】「情報処理演習」で学んだエクセルの復習(2時間)

【事後学修】授業で扱った演習問題の復習(2時間)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編（東京大学出版会） 417/T/1

科目名	生活と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「情報処理演習」で習得したエクセルの技術を活用して、統計学の基本的な知識を学ぶ。卒業研究などで活用できる実際に分析手法については「社会調査法」で、またアンケート手法とSPSSによる分析については「マーケティングリサーチ」で学ぶ。

本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である分散の概念、正規分布の特徴、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

「データの種類と尺度について理解し、変数に応じた整理や分析ができる」「二項分布と正規分布の特徴を理解し、問題を解くことができる」「推定と検定の考え方について理解している」

内容

1	1 データの概念・記述統計と推測統計
2	2 データの尺度
3	3 度数分布とヒストグラム
4	4 データのばらつき(分散と標準偏差)
5	5 いろいろな確率分布
6	6 二項分布
7	7 正規分布(1)
8	8 正規分布(2)
9	9 母集団と標本
10	10 推定(1)
11	11 推定(2)
12	12 検定と帰無仮説
13	13 練習課題
14	14 応用課題
15	15 まとめ

評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出(20%)
- 2 . 最終課題の達成度(80%)とし、総合評価の60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】「情報処理演習」で学んだエクセルの復習(2時間)

【事後学修】授業で扱った演習問題の復習(2時間)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編（東京大学出版会） 417/T/1

科目名	情報倫理		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「情報倫理」は様々な角度から論じられているが、本講ではメディアからの情報を的確に受け取り、活用できる「情報の賢い受け手」になることを主眼に置く。

科目の概要

情報に関わるということは、「受け手」と「送り手」の2つの側面がある。今後、メディアや情報を専門に学ぶ上で、まずは情報の上手で賢い「受けて」になることが必要と思われる。新聞、テレビの情報(主としてニュース)がどのように収集、編集、発信されるかを学ぶとともに、自ら必要とする情報を的確に選択し、自分なりに解説を加えられる能力を磨く。そのために、毎回の授業では新聞記事のスクラップ作業等を通じて、情報の的確な選択と分析作業に取り組む。また、第一線にいる法律専門家(弁護士)を招き、情報が持つ正と負の側面を実際の事例を通じて学ぶ。

学修目標(=到達目標)

情報化時代に生きる学生、特にメディア・情報を学ぶ学生があふれる情報の中から、自ら必要とする情報を選び、活用する能力を授業を通して培う。今後、専門を学ぶ上で自立した情報の受け手になることを目標とする。

内容

1	授業ガイダンス 講義の進め方・新聞スクラップ作業の説明
2	講義=新聞情報の収集、編集、発信の過程 スクラップ作業
3	講義=テレビ情報の収集、編集、発信の過程 スクラップ作業
4	スクラップ作業と記事解説の発表
5	スクラップ作業と記事解説の発表
6	法律の専門家による事例解説 スクラップ作業
7	スクラップ作業と記事解説の発表
8	スクラップ作業と記事解説の発表
9	法律の専門家による事例解説 スクラップ作業
10	スクラップ作業と記事解説の発表
11	スクラップ作業と記事解説の発表
12	法律の専門家による事例解説 スクラップ作業
13	スクラップ作業と記事解説の発表
14	スクラップ作業と記事解説の発表
15	まとめ テーマを設定したスクラップ作業

評価

毎回のスクラップ内容60点+最終回の記事分析レポート40点=100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】毎回の授業では新聞を用意するが、事前に新聞を読むことを勧める(新聞は特に問わない)

【事後学修】授業で興味・関心を持った記事に関し、関連事項を検索し、理解を進める

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 特になし

【推薦書】 授業時に指示

【参考図書】 授業時に指示

科目名	社会調査技法（量的調査）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「調査と統計」で学んだ統計知識に基づいて「卒業研究」や「マーケティングリサーチ」で活用できる統計分析手法について学ぶ 本科目では、Excelを利用してデータ分析に必要な統計解析手法を学ぶ。例題により分析手法を理解し、練習問題や演習課題を通して実践力を身に着ける。

「Excelをつかってt検定、二乗検定、分散分析、および回帰分析ができる」

「分析結果から有意な差があるか否か、結論を導くことができる」

「分析結果をグラフなどにまとめてレポートを作成できる」

内容	
1	1．平均の差の検定（1）2群の平均値の比較
2	2．平均の差の検定（2）2群の平均値の比較
3	3．平均の差の検定（3）対応のあるデータ
4	4．分散分析（1）一元配置
5	5．分散分析（2）一元配置
6	6．分散分析（3）二元配置
7	7．演習課題
8	8．二乗検定（1）度数分布とクロス表
9	9．二乗検定（2）適合度の検定
10	10．二乗検定（3）独立性の検定
11	11．相関と回帰（1）相関関係
12	12．相関と回帰（2）回帰分析
13	13．相関と回帰（2）回帰分析
14	14．総合課題
15	15．まとめ

評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1．授業における取り組み（30％） 2．最終課題の達成度（70％）とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】「調査と統計」の内容の復習（2時間）

【事後学修】演習課題・総合課題の復習（2時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない 必要に応じて授業時に資料を配布

科目名	社会調査技法（量的調査）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「調査と統計」で学んだ統計知識に基づいて「卒業研究」や「マーケティングリサーチ」で活用できる統計分析手法について学ぶ 本科目では、Excelを利用してデータ分析に必要な統計解析手法を学ぶ。例題により分析手法を理解し、練習問題や演習課題を通して実践力を身に着ける。

「Excelをつかってt検定、二乗検定、分散分析、および回帰分析ができる」

「分析結果から有意な差があるか否か、結論を導くことができる」

「分析結果をグラフなどにまとめてレポートを作成できる」

内容

1	1．平均の差の検定（1）2群の平均値の比較
2	2．平均の差の検定（2）2群の平均値の比較
3	3．平均の差の検定（3）対応のあるデータ
4	4．分散分析（1）一元配置
5	5．分散分析（2）一元配置
6	6．分散分析（3）二元配置
7	7．演習課題
8	8．二乗検定（1）度数分布とクロス表
9	9．二乗検定（2）適合度の検定
10	10．二乗検定（3）独立性の検定
11	11．相関と回帰（1）相関関係
12	12．相関と回帰（2）回帰分析
13	13．相関と回帰（2）回帰分析
14	14．総合課題
15	15．まとめ

評価

評価は、以下の2点を総合して行う

1．授業における取り組み（30％） 2．最終課題の達成度（70％）とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】「調査と統計」の内容の復習（2時間）

【事後学修】演習課題・総合課題の復習（2時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない 必要に応じて授業時に資料を配布

科目名	社会調査技法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

現代社会コース専門科目「現代社会調査科目」で2年次必修科目である。社会調査技法（量的調査）では統計調査の技法を学ぶのに対して、事例調査の技法を学ぶ。

科目の概要

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

学修目標

社会調査の中でも質的調査について、その基本概念と先行事例を学び、自ら質的調査を設計して実践する技術を習得する。

内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイティ『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

評価

授業時の課題提出50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてある資料を予習する。

【事後学修】授業時の課題を仕上げ指定のフォルダに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【参考図書】

桜井 厚（2002）『インタビューの社会学』せりか書房。

桜井 厚訳（1983）W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房。

中野 卓（1979）『口述の生活史』御茶の水書房。

寺谷弘士訳（1979）W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』垣内出版。

社会調査協会編（2014）『社会調査事典』丸善出版。

科目名	社会調査技法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

現代社会コース専門科目「現代社会調査科目」で2年次必修科目である。社会調査技法（量的調査）では統計調査の技法を学ぶのに対して、事例調査の技法を学ぶ。

科目の概要

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

学修目標

社会調査の中でも質的調査について、その基本概念と先行事例を学び、自ら質的調査を設計して実践する技術を習得する。

内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイテ『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

評価

授業時の課題提出50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてある資料を予習する。

【事後学修】授業時の課題を仕上げて指定のフォルダに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【参考図書】

桜井 厚（2002）『インタビューの社会学』せりか書房。

桜井 厚訳（1983）W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房。

中野 卓（1979）『口述の生活史』御茶の水書房。

寺谷弘士訳（1979）W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』垣内出版。

社会調査協会編（2014）『社会調査事典』丸善出版。

科目名	社会情報処理演習 (データベース)		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会調査科目(必修)の 科目、1年次の情報処理演習で習得したパソコン操作技術の中でも、Access によるデータベース管理について、発展的に学習

科目の概要

ACCESSというリレーショナルデータベースの基礎を学ぶとともに、販売管理などを題材としてデータの構造を考え、Access を用いたデータベースの作成・管理・活用方法を学び、最後に自分でデータベースを作る。

学修目標

3,4年の卒業研究や、将来、職場や趣味で活用できるようにACCESSというリレーショナル・データベースの概念、構造、設計、作成、活用技術を、発展的に学習し、理論と技術を身につける。

内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習(テーブルの作成)
4	Access によるデータベースの作成演習(複数テーブルの作成)
5	Access によるデータベースの作成演習(クエリ処理)
6	Access によるデータベースの作成演習(クエリ処理)
7	Access によるデータベースの作成演習(フォーム、レポートの作成)
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数(和演算、差演算、積演算、商演算)
10	リレーショナル代数(選択演算、射影演算、結合演算)
11	DBMS(正規化)
12	DBMS(整合性)
13	DBMS(排他制御)
14	DBMS(障害回復)
15	まとめ

評価

授業に対する意欲・関心・態度と授業中に出す演習課題(40点)と総合課題(30点)とテストまたはレポート(30点)の成績で評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次回行うところの教科書を読みわからないところを明確にしておく。

【事後学修】授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	消費者と法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会演習科目のなかの、選択必修科目である。

科目の概要

私たちは、通信販売で洋服を買う、映画を見る、旅行会社でツアーに申し込む、電車にのるといったあらゆる日常生活の場面で私たちは誰もが「消費者」として生活している。つまり「事業者」から物やサービスを購入し、利用しているのである。しかし、販売方法も多様化し、社会も複雑化している状況の下、大量生産・大量販売といった機能が事業者により一方的に担われている。そして、消費者と事業者には情報力・経済力等の格差が存在する。そのため、様々な消費者トラブルが発生する可能性が常にある。そこで、消費者トラブルの発生しやすい場面や現代的な課題を取り扱い、紛争解決の仕組みを検証する。

科目の目標

日常の消費生活において消費者を事業者から守る法律とその意義、各種悪徳商法の対策と法、トラブル発生後の消費者救済の仕組みについて学ぶ。また、賢い消費者としての必要な知識を身につけ、消費者トラブルと法の機能と限界について説明できるようにする。また、知識取得のみならず、消費者問題に関連する新聞記事などを利用し文章読解能力・文章表現力を身につけ、また事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容

1	【総論】消費者法 ガイダンス、消費者と事業者、民法
2	【総論】消費者契約法 悪徳商法と消費者
3	【総論】特定商取引法 訪問販売、クーリング・オフ
4	【各論】高齢者・未成年者の法律問題
5	【各論】金融機関と消費者問題
6	【各論】信用取引と消費者問題
7	【各論】破産・倒産と消費者
8	【各論】マルチ商法・ネズミ講
9	【各論】不動産と消費者問題(前半)
10	【各論】不動産と消費者問題(後半)
11	【各論】情報化社会と消費者問題
12	【紛争解決と消費者】裁判所と消費者、裁判所以外の窓口(ADR)と消費者
13	【紛争解決と消費者】行政と消費者
14	【紛争解決と消費者】教育と消費者
15	まとめ

評価

提出物・授業態度(50点)、ペーパーテスト(50点)を総合して評価する。

100点満点中60点が単位取得の下限となる。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、消費者と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。その他、必要に応じて適宜資料を配布する。

科目名	少子高齢時代の社会保障		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：選択科目。履修者相互の学びあいをめざす。

科目の概要：少子高齢社会・人口減少社会となったわが国において、社会保障・社会福祉は、一部の恵まれない人々への恩恵ではなく、あらゆる人々が生活の安定・安心を実現するために、人生のどこかで関わり、利用するものとなっている。しかし、社会的文化的性差（ジェンダー）が生活問題の発生に影響していることは変わらない。ジェンダー視点をもって福祉の多様な側面を検討することにより、等身大の福祉社会のあり方を考える。

学修の目標：講義内容を自らの生き方と関連付けて理解し、社会保障・社会福祉の制度リテラシーの基本とすること。

内容

第4週から第14週の講義テーマについては、履修者の履修理由・希望等によって若干変更することがある。

1	少子高齢時代の持続可能な社会のビジョンとは
2	男女共同参画に関する政策・制度の変化とその影響
3	社会保障・福祉サービスに関する政策・制度の変化とその影響
4	家族と労働の変化 - ワークライフバランス
5	児童の環境と出産・育児支援
6	母子・父子家庭の抱える問題
7	高齢者の自立と介護問題
8	障害者（児）の自立支援に関する問題
9	新たな貧困問題とホームレス
10	在日外国人の生活問題
11	売買春・セクハラ・DVの解決
12	福祉の仕事と教育
13	ボランティア・市民活動・NPOの役割
14	福祉を創りだした女性たち
15	レポートの報告と講評

評価

毎回の要点整理（20点）、期末レポート（80点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】推薦書のうち1冊を選択し、読んでおくこと。

【事後学修】毎回の講義内容の要点をまとめ、翌週提出すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：杉本貴代栄『ジェンダーで読む21世紀の福祉政策』『ジェンダーで読む福祉社会』有斐閣選書

春日キスヨ『介護とジェンダー』家族社 369.26/K

広井良典『持続可能な福祉社会』岩波新書 364/H

中西正司・上野千鶴子『当事者主権』岩波新書 369.1/N

上野千鶴子・中西正司『ニーズ中心の福祉社会へ』医学書院 369.1/N

杉本貴代栄『女性化する福祉社会』勁草書房

科目名	グローバル化と生活		
担当教員名	鴨澤 小織		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会を突き動かしている動力を身近なモノ、ヒト、文化などから読み解くことで「グローバル化」とは何をを
理解する。

科目の概要

「グローバル化」によって何が起きているのか、自分の周辺で起きている人間の生活にどう影響しているのか
を、その光と影の両面から探してみる。映像や新聞などを使い、自分で感じ、考える授業としたい。

学修目標(=到達目標)

日常生活が世界にどうつながっているのか、グローバル化する社会でどう生きるのかを考える力、自分の考えをまとめる力
を高める。

内容

必要に応じ、ゲストスピーカーの講義や、レポート作成、プレゼンテーションなどの参加型授業とする。

1	グローバル化とは何か-背景と意味
2	グローバル化の歴史
3	グローバル化する社会の「モノ」100円ショップからフェアトレード
4	グローバル化する社会の「食糧」輸入食材とフードマイレージ
5	グローバル化する社会の「水」水紛争とは何か
6	グローバル化する社会の「文化」本、ファッション、音楽から世界を見る
7	グローバル化する社会の「企業と組織」多国籍企業と国際協力組織
8	グローバル化する社会の「労働1」国境を超える女性労働者
9	グローバル化する社会の「労働2」日本の移民労働者
10	グローバル化する社会の「人間の交流」多文化共生
11	グローバル化する社会の「人の交流：光と影」国際結婚、人身売買
12	グローバル化の諸問題：格差と貧困
13	グローバル化の諸問題：不平等と社会正義
14	グローバル化を生きるということ：誰が豊かになったのか
15	まとめ

評価

課題40%、授業への貢献30%、授業への参加度30% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で配布した資料を読むなど、追って知らせます。

【事後学修】課題について調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用しません。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。

科目名	ライフコースと生活設計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会コース専門科目の1・2年次配当の選択必修科目「フィールドスタディ(体験型演習)」の「男女共同参画社会」科目である。

科目の概要

家族という小集団は、男女が結婚することで形成され、子どもの出生と成長によって拡大する。しかし、子どもが成人して自身の家族を形成するにしたがって縮小し、やがてはもとの夫婦二人になるという生活周期をもっている。家族にはこうした周期現象がみられることから、より長いスパンでの生活設計という考えが生まれた。ところが、個人の生き方が多様化するなかで、家族の生活周期と個人のライフコースとはどのように交錯しているのか、時代や世代によってどう変化したのかといった考察が必要になってきた。本科目では、女性の自立とライフコースの選択、格差社会の進展にともなうライフコースの移行の遅れといった今日的な課題について、論理的に考察する。

学修目標

家族周期やライフコースという家族の発達アプローチを理解する。ライフコース分析の基本を学修する。より長いスパンから生活を考える視点を身につける。

内容

1	発達アプローチ
2	家族周期の定義と発見者
3	家族周期の段階
4	家族周期と発達課題
5	家族周期の世代変化
6	家族周期論の応用
7	家族周期論の限界
8	ライフコースの発想
9	ライフコースの捉え方
10	ライフコース研究の古典1:エルダー『大恐慌の子供たち』
11	ライフコース研究の古典2:プラス『日本人の生き方』
12	女性のライフコース1
13	女性のライフコース2
14	ライフコースと世代
15	総括

評価

授業時の課題提出50点、学期末試験50点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末試験に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

【推薦書】

G・H・Jr.・エルダー、本田時雄他（1986）『大恐慌の子どもたち』明石書店。

D・W・ブラス、井上俊・杉野目康子訳（1985）『日本人の生き方』岩波書店。

岩上 真珠（2003）『ライフコースとジェンダーで読む家族』有斐閣。

青木 幸弘、女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

科目名	政策決定とジェンダー		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

コミュニケーション学科 現代社会コース フィールドスタディ「男女共同参画」の必修科目

科目の概要

男女共同参画社会づくりに向けて社会の政策がどのようにつくられているかを、「ジェンダー」の視点を通して見直す。さらに女性の政策決定の場への参画の実態や、今日変化している新たな制度づくりの動きを探る。

学修目標 (=到達目標)

社会のルール作りを実体験もとおしてとらえ、女性の参画による社会の変化をとらえる。

内容

- 1回： 社会のルールはだれが作ったのか
- 2・3回： 女性の政治参画・参政権獲得の歴史
現代の世界の動き
- 4・5回： 1970年代以降 国際女性年の動向
国連女子撤廃条約の成立とその内容
- 6・7回：働く女性にかかわる女性たちによる制度改革
男女雇用機会均等法により何が変わったか
国籍法、育児休業法、など女性たちの主張
- 8・9回： 女子たちの社会を変える活動・女性センター
地域やグループの力が社会を変える
- 10・11回： 災害支援と女性の視点・NPO活動
女性の視点から必要な支援とは
- 12・13回： 生涯にわたる学習の必要性
女性の再就職やその支援、社会で行う育児・介護

14回：女性の参画はどのように進んだか

15回：まとめ

評価

課題提出レポート60点、授業参加30点、平常点10点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】新聞の関連資料や「月刊・女性情報」の関連資料を調べる

【事後学修】制度や社会の在り方の変化を理解し、視野を広げることにつなげる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

新聞と「月刊・女性情報」などの関連資料を用いる。

科目名	民法の基礎		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民） / 現代社会コース		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

コミュニケーション学科現代社会コースの学科専門科目として位置付けられている。

科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。民法には、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、家を借りる、洋服を買う、誕生日プレゼントをするといった身近な行為に関係の深い民法の債権法を中心に取扱う。

科目の目的

身近な「契約」という行為がどのような法的な意味内容をもつものかを中心に学び、民法・債権法の基本的な理解を図ることを目的とする。また、知識取得のみならず、事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します

内容

1	債権法のガイダンス及び契約の成立
2	契約の効力： 同時履行の抗弁権、危険負担、第三者のためにする契約
3	契約の解除： 解除の要件・効果、消費者保護とクーリングオフ
4	契約各論(1)： 贈与契約 - 意義・成立・効力・特種の贈与
5	契約各論(2)： 売買契約 - 意義・成立・効力
6	契約各論(3)： 売買契約 - 買戻しについて
7	契約各論(4)： 交換・消費貸借・使用貸借
8	契約各論(5)： 賃貸借契約の意義・期間・効力
9	契約各論(6)： 雇用・委任・その他の典型契約
10	契約以外の債権発生原因(1)： 事務管理・不当利得
11	契約以外の債権発生原因(2)： 不法行為
12	債権の効力： 強制執行・債務不履行・損害賠償・受領遅滞
13	多数当事者の債権関係： 連帯債務・保証債務
14	債権の消滅： 弁済・代物弁済・相殺他
15	総括

評価

提出物・受講態度(40点)、ペーパーテスト(60点)を、総合して評価します。100点満点中60点が単位取得の下限です。

授業外学習

【事前予習】授業中に指示した教科書の該当箇所を事前に読む。

【事後学修】事例をよく復習し、理解を定着させる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『スタートライン債権法』[第5版] 池田真朗（日本評論社）

【参考書】『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可

科目名	生活と情報経済		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選必,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会)/高等学校教諭一種免許状(公民)/現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会コースの専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標(=到達目標)

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	検索サイトと広告
8	インターネットと政府
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	仮想通貨
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点(10%)、毎回の課題(30%)、最終レポート(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	生活経済		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本講義は、生活情報学科専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、個人の公的年金保険制度や税制、金融資産運用について学習する。

科目の概要

FP技能士3級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人が関わる金融全体についての知識習得を図る。

学修目標

FP技能士3級に合格できる学力の養成を図る。

内容	
1	イントロダクション
2	ライフプランニングと資金計画 1
3	ライフプランニングと資金計画 2
4	生命保険
5	損害保険
6	金融資産運用 1
7	金融資産運用 2
8	金融資産運用 3
9	税制のしくみ 1
10	税制のしくみ 2
11	不動産取引 1
12	不動産取引 2
13	相続と事業継承 1
14	相続と事業継承 2
15	まとめ

評価

平常点(10%)、中間テスト(30%)、学期末テスト(60%)とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読む。

【事後学修】プリントで復習しながら、問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業中に指示する。

推薦書：授業時に指示する。

科目名	生活と議会政治		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

マスメディアの報道の前提となっている基礎知識のうち、政治・行政などに関わる基礎知識を学ぶ

科目の概要

政治的決定のルール、行政のしくみ、時事問題などを学ぶ。現在の課題(例えば、景気問題、少子高齢化と福祉の問題、財政赤字、憲法改正、原発と復興、TPP、安全保障など)がどのように決められていくか、どのように決めていくべきかを考える。

学修目標(=到達目標)

現在の日本の課題を題材として政治行政の基礎知識を修得するのみでなく、その課題を知識を生かして論じる力を身につけることを目標とする

内容

- 1 ガイダンス
- 2 政治・行政とは 政治のしくみ-国会・内閣、議院内閣制・大統領制-
- 3 政治・行政とは 行政のしくみ-中央省庁・地方自治体の役割-
- 4 政策決定システム 選挙と政権交代、与党と野党、官僚制度
- 5 政策決定システム 連立政権
- 6 立法過程 予算と法律、予算と法律ができるまで
- 7 立法過程 ねじれ国会、1年で交代する首相、安倍内閣による変化
- 8 前半まとめ
- 9 財政赤字と諸問題 福祉国家論と小さな政府
- 10 財政赤字と諸問題 財政危機と社会保障、景気対策、ヨーロッパ・アメリカ
- 11 現代日本政治の諸問題 安倍首相の目指すもの-積極的平和主義、戦後レジームからの脱却
- 12 現代日本政治の諸問題 安全保障、外交、憲法改正、原発再稼働・震災復興問題
- 13 現代日本行政の諸問題 景気対策とアベノミクス、財政赤字、雇用問題、
- 14 現代日本行政の諸問題 タテ割り行政がはばむもの、規制緩和、TPP、復興
- 15 後半まとめ

評価

小試験2回など(70%)、平常点(30%)の総合評価による

授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、関連する時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した内容を復習し、それについての自分の意見・考え方をまとめる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書

堀江湛 『政治学・行政学の基礎知識 第2版』一藝社

岩井奉信 『立法過程』東京大学出版会

科目名	地球とエコシステム		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

コース専門科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作り直すという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム(生態系)、という点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な地球環境保護活動について検討する。さらに、エコシステムに注目する行動の基礎となった環境倫理学の視点や、ディープ・エコロジーといった思想を紹介し、地球の生態系を重視する環境保護政策のあり方について考えてみたい。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

環境問題を広く理解するためには、FS 授業科目「生活環境と経済開発」も履修することが望ましい。

内容

講義で扱うテーマは下記のとおり。

1. 地球環境問題をどう捉えるか
2. 環境を考える4つの視点(1): 市場優先派と制度重視派
3. 環境を考える4つの視点(2): 生態系優先派と緑の社会正義派
4. 環境保護対策の考え方
5. 国際協力体制の始まり
6. 国際協力体制の発展
7. 環境問題における国際対立
8. 環境問題と経済格差
9. 環境問題とジェンダー
10. 環境問題と民主主義
11. 環境NGO
12. 環境倫理学
13. 生態系を守る環境保護政策
14. 環境学への視座
15. まとめ

評価

レポート(60%)、試験(40%)で総合評価。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事についての情報を集める。

【事後学習】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、情報を整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】関礼子他 『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善 2008年；東京商工会議所編 『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』明石書店 2003年

科目名	生活とボランティア活動		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

社会福祉展開科目として福祉に関する「ボランティア」を中心にボランティア・コーディネーションの基本をとらえる。

科目の概要

ボランティアに関する知識と推進するための技術としてコーディネーション力を、具体的実践事例を交えながら理解することを内容とする。

学修目標(=到達目標)

1. ボランティアについて理解する。
2. ボランティアコーディネーターの基本的な姿勢を身につける。
3. ボランティアコーディネーションについて理解する。

内容

1	はじめに ボランティア-自らの学びの経験をもとに-
2	豊かに生きていく上で必要なボランティア
3	ボランティアとは何か
4	ボランティアの理解1
5	ボランティア活動の実際
6	ボランティアの理解2
7	ボランティア活動の意味
8	ボランティアのとらえ方1
9	ボランティアのとらえ方2
10	ボランティア活動の課題
11	コーディネーションについて
12	ボランティアコーディネーションの理解
13	ボランティアコーディネーションとボランティアコーディネーター
14	ボランティアセンターとボランティアコーディネーター
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、毎回のリアクションペーパー20%、学修目標に関する中間レポート30%、総括レポート40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ボランティアについて自分の認識を整理出来るように、書籍、テレビ、新聞、雑誌、実際のボランティア活動等の中から選んで事前理解を心がける。

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、示された図書等を読み、関心を持った活動等について更に調べ、学びを発展的に深める努力を心がける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず授業時にプリント配布する。その他必要に応じて図書等について授業時に紹介する。

【推薦書】日本ボランティアコーディネーター協会編「市民社会の創造とボランティアコーディネーション」筒井書房、柴田謙治・原田正樹・名賀亨編「ボランティア論」(株)みらい

科目名	生活とコミュニティ		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会コース専門科目2年次以上配当の選択必修科目である。

科目の概要

生活とコミュニティ(地域社会)について、生活構造論からアプローチする。そもそも生活とは多義的な概念であるため、生活構造論は多様である。しかしその基本は、個人または家族の生活状況から社会構造を捉え直そうとする、つまり生活者(個人や家族)の主体性に着目している点で共通している。都市化・産業化によって人々の生活水準は向上したが、それは格差社会をつくりだすことにも繋がった。また、生活の質についてはどうであろうか。この科目では、官庁統計や社会調査のデータを用いて、生活者が置かれている生活状況(生活水準、生活時間、生活空間、生活関係)を確認するとともに、地域社会における生活者の主体形成のありかたを考察する。

学修目標

生活者(個人や家族)の主体性に着目し、生活者の生活状況から社会構造を捉えなおす、生活構造論の基本を学ぶ。官庁統計や社会調査データから生活構造を読み解く力を身につける。

内容

1	生活構造1:生活構造論とは
2	生活構造2:生活の指標
3	生活水準1:家族周期と家計構造
4	生活水準2:消費行動とライフスタイル
5	生活水準3:階層・階級と格差社会
6	生活時間1:生活時間の構造
7	生活時間2:ワークライフバランス
8	生活空間1:過疎問題
9	生活空間2:開発と住民運動
10	生活空間3:都市問題
11	生活関係1:自治会・町内会
12	生活関係2:社会的ネットワーク
13	生活関係3:ボランティア活動
14	生活関係4:コモンズとまちづくり
15	総括

評価

授業時の課題50点、学期末のレポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末レポートの作成に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【推薦書】

三浦典子、森岡清志、佐々木 衛 編（1986）『生活構造』（リーディングス日本の社会学5）東京大学出版会。

堤マサエ、徳野貞雄、山本 努 編著（2008）『地方からの社会学』学文社。

科目名	結婚と家族		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会コース専門科目の2年次以上配当選択必修科目である。

科目の概要

生活の基本単位である家族という小集団と、そこでの人間関係の特徴を理解する。家族は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なっている。本科目では、家族形成のあり方、家族の構造と機能について、その基本的な捉え方を学ぶとともに、その今日的な変化を実証的に確認する。

学修目標

現代日本における結婚と家族の変化について、社会調査のデータから客観的に論じられる力を身につける。

内容

1	家族の捉え方1：家族の定義
2	家族の捉え方2：家族と世帯
3	家族の形態1：核家族
4	家族の形態2：家族の種類と分類
5	家族の形態3：家族構成の変化
6	結婚1：異性交際と配偶者選択
7	結婚2：結婚の意味と機能
8	結婚3：結婚の変化
9	家族の発達1：家族のライフサイクル
10	家族の発達2：ライフサイクルの変化
11	家族の内部構造1：家族の役割構造と勢力構造
12	家族の内部構造2：家族の情緒構造
13	家族の機能1：子どもの社会化
14	家族の機能2：老親扶養
15	総括

評価

授業時の課題30点、学期末試験70点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてあるワークシートで予習する。

【事後学修】ワークシートの解答を確認して、学期末試験に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【推薦書】

湯沢雅彦・宮本みち子（2008）『新版 データで読む家族問題』NHKブックス。

野乃山久也編（2009）『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社。

佐藤博樹・永井暁子・三輪 哲編（2010）『結婚の壁 - 非婚・晩婚の構造』勁草書房。

森岡清美（2012）『「無縁社会」に高齢期を生きる』佼成出版社。

科目名	家族と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法（親族・相続）の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

科目の概要：

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容	
1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

評価

提出物・受講態度（50点）、ペーパーテスト（50点）を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『家族の法[第3版]』 利谷信義（有斐閣）

【参考図書】『デイリー六法』（三省堂） その他の六法も可

科目名	ジェンダーと開発		
担当教員名	橋本 ヒロ子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目はコミュニケーション学科現代社会コース現代社会専門科目の一つ

科目の概要

海外の女性の社会的、経済的、政治的状況について、日本女性の実態と比較しながら学ぶ。

ダボス会議を開催している世界経済フォーラムが毎年発表しているジェンダーギャップ指数で、日本の順位は2012年は135か国中101位、2013年には105位に落ちた。この低下は、2012年12月に行われた衆議院選挙で女性議員の割合が減ったことが影響している。

先進国だけでなく多くの開発途上国よりも日本の順位は低いのである。その主な理由は、日本女性の管理職の少なさ、経済力のなさ、政治への参加が低いことである。日本女性のこの社会的地位の低さを改善するためには、各国の女性の状況について学ぶ必要がある。

そのため、各国における女性の状況を労働、教育、暴力、政治参加、高齢者、貧困などの様々な領域でビデオ、ゲスト講師の講義などによりビジュアルに学んでいく。自分で選んだ国の女性の教育などについて最終レポートを作成する。

学修目標

海外の女性の状況を学ぶことで、日本の女性の国際的な社会的・政治的・経済的状況を把握し、学生一人一人が、日本女性の一人として、今後何をすればよいか考える機会となることが目標

内容	
1	女性の社会参画の国際比較を学ぶ目的 国際的な女性の地位の比較、女性の地位向上の為の課題
2	国際的な政治参加の状況 世界の女性リーダー達、女性が政治にでるとどう変わるか？
3	女性の人身取引1 東ヨーロッパの女性 【買われ・売られて】
4	課題1 新聞切抜き報告 女性の人身取引2【売買される女性たち】
5	世界各地の宗教、文化、風習と女性【女性に対する暴力：文化、風習】
6	ゲスト講師 川崎けい子さんの講義「アフガニスタンの女性と子ども」と質疑
7	課題2 新聞切り抜き報告 アフガニスタン、イスラム圏の女性の状況について
8	女性に対する暴力 DV、女性差別撤廃条約、女性に対する暴力撤廃デー、FGM(女性性器切除)
9	女性の識字・教育を考える：男女、都市農村別、宗教による違い【ミーナのえがお】
10	女性と経済：各国における女性・男性の働き方 【女性・男性の働き方】
11	女性と貧困 【貧困の女性化】母子家庭の貧困 女性高齢者の貧困
12	国連安保理決議1325 紛争解決と平和構築における女性【平和を作る女性たち】
13	女性の地位を測る指標、ジェンダー統計 【女性の社会参加】
14	課題の報告 女性と環境、女兒、【女兒・子どもと未来のために】
15	レポートの報告

評価

レポートの内容(60%)、課題提出物の内容(20%)、毎回のワークシートの内容など平常点(20%)

授業外学習

【事前予習】新聞記事、インターネットのニュースなどで世界の女性の現状について調べる。

【事後学修】世界各国における女性の状況について考えをまとめ、国とテーマを選び、最終レポートを書くための準備をする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：ジョニー・シーガー著、原民子、木村くに子訳『地図で見る世界の女性』明石書店 2005

落合美恵子、山根真理、宮坂靖子『アジアの家族とジェンダー』勁草書房、2007

参考文献：雑誌 季刊『女たちの21世紀』アジア女性資料センター

国連人口計画『世界人口白書 2013』

科目名	北アメリカとヨーロッパ地域研究概論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1・2年生対象の選択必修科目で、国際社会の基礎を学ぶ。

講義の対象となるのは、一般に「西洋」と言われる北米欧地域だが、その地域内でも違いがあり、国々の関係も様々である。最近では、先進国共通の国内社会問題や国際問題への対応で、アメリカとヨーロッパの差が目立つことが多い。授業では特に、これらの社会での政治、経済などの情報の流れに注目し、その特色を考える。それぞれの地域の新聞、テレビ、ネットなどのリアルタイムの情報を紹介しながら、授業を進めていく。

国際理解の基礎知識を身につける。

内容	
1	地域研究方法論とコミュニケーション
2	欧米社会(1):人々のつながり
3	欧米社会(2):メディアを通じてのコミュニケーション
4	欧米社会(3):マスメディアの役割
5	欧米社会(4):マスメディア組織
6	世論形成
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア(1):選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア(2):政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの比較(1):アメリカとヨーロッパ
14	政治コミュニケーションの比較(2):欧米とアジア
15	まとめ

評価

レポート(40%)、試験(60%)で総合評価。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】マスコミやネットで伝えられる政治社会ニュースをフォローする。

【事後学修】授業で説明された分析的視点から、情報を分析する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】久保文明他 『新版アメリカ政治』有斐閣アルマ 2010年

科目名	日本とアジアの地域研究概論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	現代社会コース		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会に生きる日本人の基本的教養である、アジアにおける日本の歴史的な位置づけを確認する

科目の概要

映画で学ぶ、アジア史。「生き証人」のゲストスピーカーを招く。

学修目標 (= 到達目標)

現代社会に生きる日本人の基本的教養である、アジアにおける日本の歴史的な位置づけを理解する

内容

アジアと日本との国際的な近現代史を扱った、内外の映画資料を利用する。

基本的な進め方は、映画の背景解説、映画視聴、内容に関するDiscussion、というサイクルで行う。

現代史に関わる部分では、「生き証人」を教室にお招きして、歴史を証言していただくことも盛り込んでいきたい。

評価

隔週に提出してもらう小レポートを50点、Discussionを50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】アジアに関するニュースや動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【推薦書】適宜、授業内で紹介する

【参考図書】適宜、授業内で紹介する

科目名	卒業研究		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会コース専門科目の「ゼミナール」必修科目である。

科目の概要

社会学の中でも、実証研究によって成果をあげてきた家族社会学の研究方法によって、個々の学生の卒業研究を進める。演習、演習、プレゼミを通じて絞られた個々の研究テーマについて、実証データを収集して、分析を進める。

学修目標

自らの大学4年間の学修を総括する研究テーマについて、オリジナルなデータに基づいた、客観的な考察を深める。

内容

参加学生個々の研究テーマに応じて、以下の作業を進める。授業時には、それぞれが中間報告し、討論することで、解釈を深める。

1. 先行研究を収集・整理・分析する。
2. 官庁統計などの既存統計を収集・整理・分析する。
3. 社会調査（事例調査または統計調査）を計画・実施する。
4. 卒業論文（本文14,000字から20,000字）の構成を決定する。

なお、近年の卒業論文のテーマには、例えば、以下のものがある。

- 「女性がビジネスで求められる品格とは何か」
- 「未婚男女が結婚相手に求める条件 - 『婚活』ブームと未婚晩婚化 - 」
- 「チャペルウエディングの流行が意味するものは何か」
- 「専業主婦に対するイメージと現実のギャップ - 専業主婦と女子大生へのインタビューより - 」
- 「国際結婚カップルの子供に対するバイリンガル教育 - アメリカ人と結婚した日本女性の子育ての事例より - 」
- 「母子家庭と子どもの貧困 - 埼玉県所沢市における母子家庭支援のあり方より - 」
- 「日本における老舗の存続戦略 - 中国での応用可能性を問う - 」
- 「家族農業経営における余暇時間の創出 群馬県館林市の畜産農家の5事例より 」
- 「暮らしやすさの指標と幸福度」
- 「シェアハウスで暮らす - 新しい共同性のあり方 - 」
- 「現代のスピリチュアル・ブーム - 癒し・スピリチュアル系商品・サービスの市場 - 」
- 「地域社会におけるJリーグの存在意義 浦和レッズの地域密着を事例として 」
- 「世界文化遺産登録と地域開発 - 富士山の世界文化遺産登録運動より - 」

評価

授業中の発表や討議を50点、学期末の卒業研究中間報告を50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。

【事後学修】授業時の討論をもとに研究を進める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参加学生個々の研究テーマに応じて、授業時に推薦書を紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会コース専門科目の「ゼミナール」必修科目である。

科目の概要

4年次前期の卒業研究 において準備してきた卒業研究を、理論性を持ち、かつ、独創性を具えた研究論文としてまとめ、大学4年間の履修上の総仕上げをする。

学修目標

客観的な論理に基づく新たな知見を提示し、残された課題を把握する。卒業研究論文として仕上げるとともに、研究結果を公表する。

内容

卒業研究は、以下の手順によって進められる。参加学生は、各自、卒業研究を中間報告し、討論によって研究内容を深める。担当教員は、個々の研究課題に対して理論や接近法を助言するとともに、研究論文の執筆について技術指導する。

1.研究テーマの設定

なぜ、その研究に着手することにしたのか、着想に至った経緯などを整理し、何をどこまで明らかにするのか、研究の目的を明確にする。

2.先行研究の検討

すでに明らかになっていることを整理・検討し、まだ明らかにされていない、研究が着手されていない、残されている課題を把握する。

3.独自性・独創性のある理論の展開

文献資料や社会調査によって、データを収集・整理し、それを分析することで明らかにされた新たな知見を論理的に提示する。

4.今後の課題

研究によって明らかになったことをまとめ、さらに、扱いきれなかった、残された課題を把握する。

評価

授業時の研究発表と討論を20点、卒業論文を60点、口頭での研究報告を20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表にむけて論文の下書きを用意する。

【事後学修】授業時の討論をもとに論文を清書する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参加学生個々について、それぞれの卒業研究に合わせて推薦書を紹介する。

科目名	フィールドスタディ「男女共同参画社会」		
担当教員名	教員未設定		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-現代社会コース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】